資料2

令和元年度空間放射線量率測定結果について

令和2年2月14日
米子市防災安全課

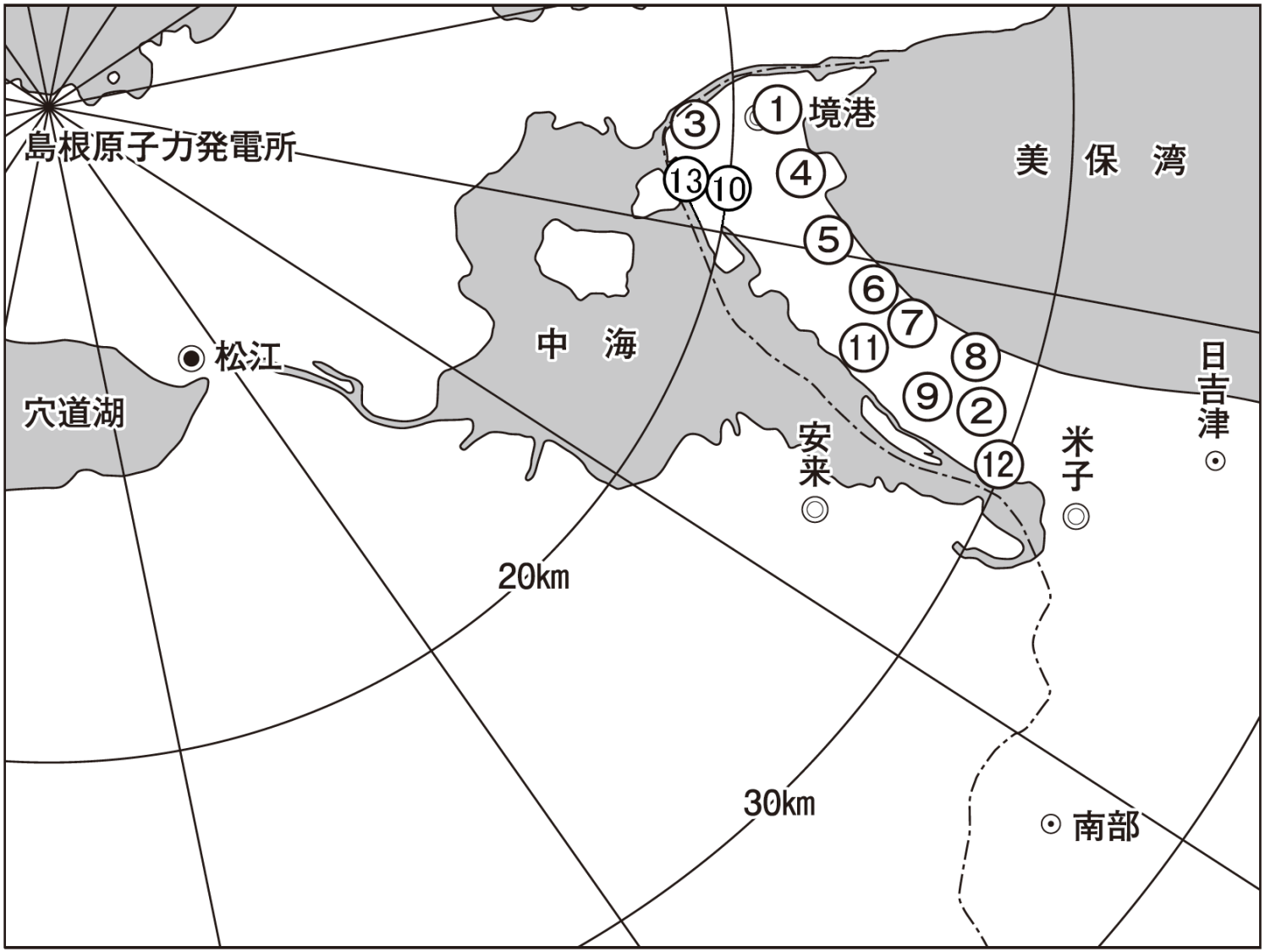
空間放射線量率の測定について（県内モニタリングポスト）

鳥取県内では、弓浜半島に設置している13カ所のモニタリングポスト（固定局2、可搬型11）において、空間放射線量率を連続して計測し、放射性物質が周辺環境に影響を与えていないかどうかを確認しています。

固定局

可搬型

調査地点


島根原子力発電所
境港
美保湾
中海
松江
穴道湖
安来
米子
日吉津
南部
20km
30km
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13

調査地点

	測定地点	種類
①	境港市上道町（境港局）	固定型
②	米子市河崎（米子局）	固定型
③	境港市外江町（外江公民館）	可搬型
④	境港市竹内町（余子公民館）	可搬型
⑤	境港市財ノ木町（中浜公民館）	可搬型
⑥	米子市大篠津町（大篠津公民館）	可搬型
⑦	米子市和田町（和田公民館）	可搬型
⑧	米子市夜見町（夜見公民館）	可搬型
⑨	米子市彦名町（彦名公民館）	可搬型
⑩	境港市渡町（渡駐在所）	可搬型（緊急時用）
⑪	米子市大崎（大崎駐在所）	可搬型（緊急時用）
⑫	米子市旗ヶ崎（旗ヶ崎交番）	可搬型（緊急時用）
⑬	境港市渡町（光洋の里）	可搬型（緊急時用）

令和元年度環境放射線等測定結果（速報値）について

空間放射線量率の測定結果は、年度分がまとまり次第、鳥取県の専門家等により検討・評価をされます。

資料に掲載しているのは令和元年12月までの速報値であり、まだ専門家の評価を受けていないものですが、現在のところ、環境への影響なしと評価された平成30年度の測定結果と同程度の数値となっています。

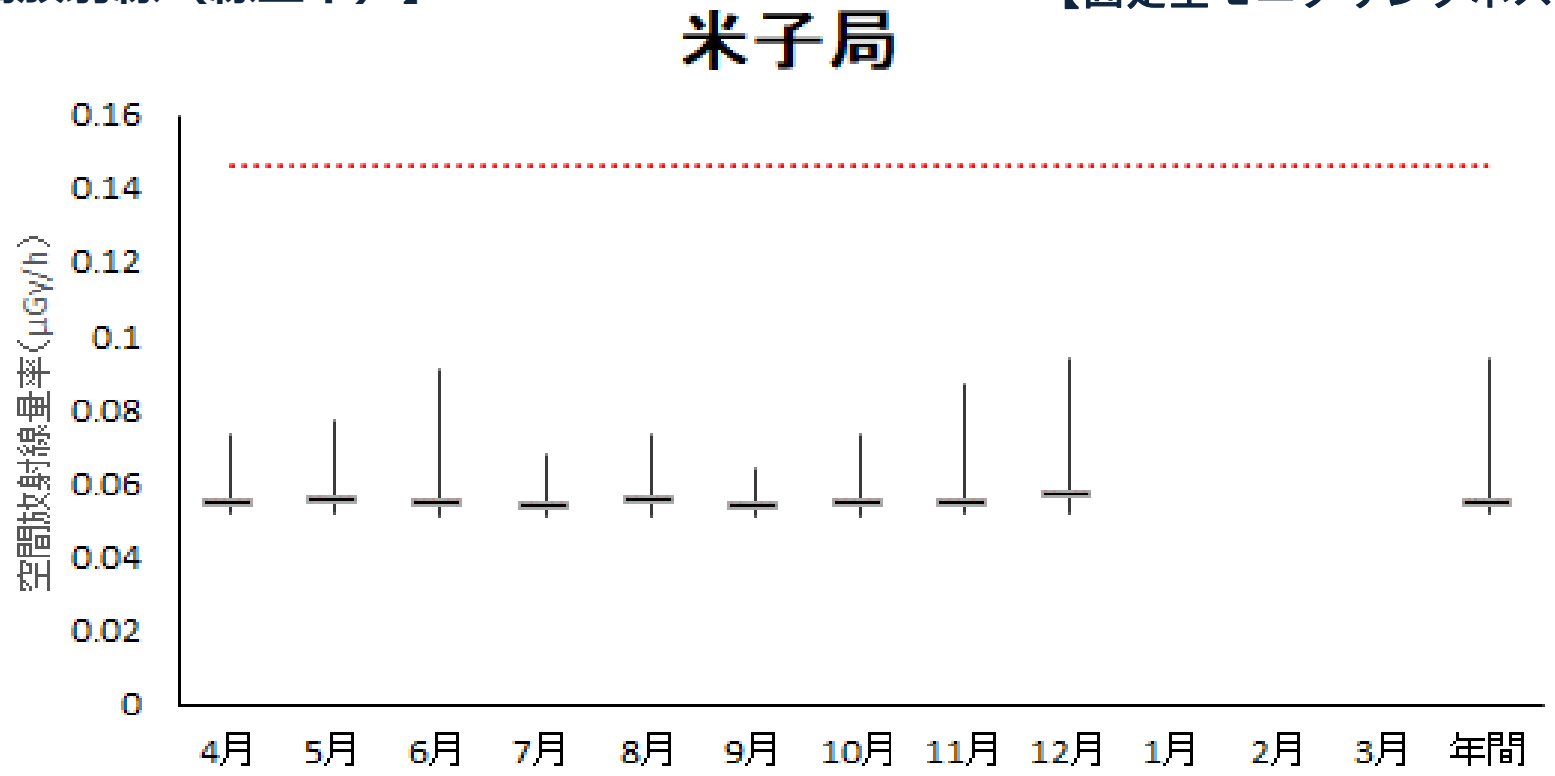
放射線量率の異常値の基準は？

0.22マイクログレイ/時（μG/h）を超えると、県が原因を調査します。これは、中国電力との安全協定における通報基準値を準用しています。この値は、国が定めた通報基準値5マイクログレイ/時よりも低い設定となっています。

令和元年度環境放射線等測定結果（速報）

【空間放射線（線量率）】

【固定型モニタリングポスト】

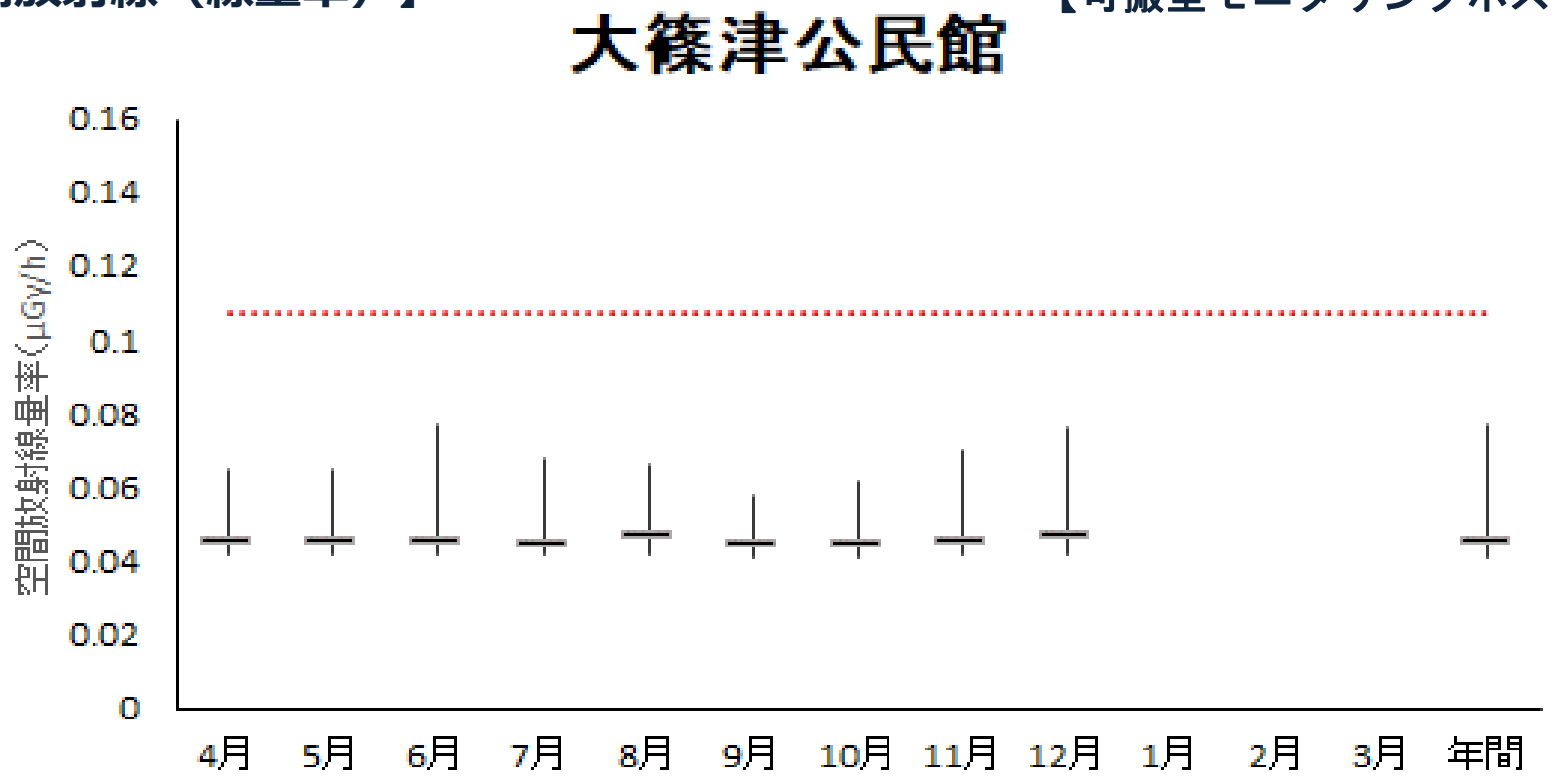


注：点線はH25～30年度の最高値を示す。

令和元年度環境放射線等測定結果（速報）

【空間放射線（線量率）】

【可搬型モニタリングポスト】

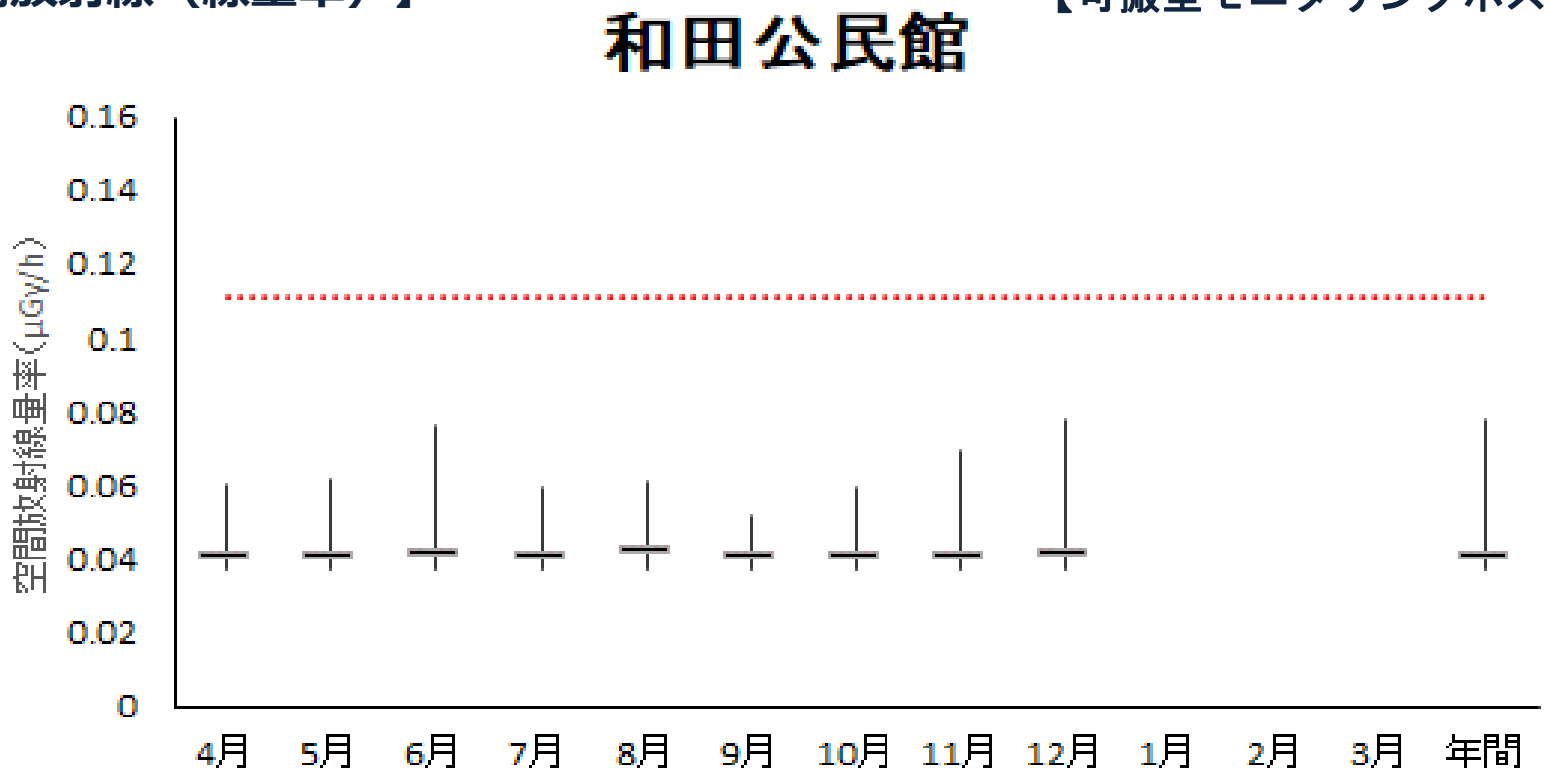


注：点線はH25～30年度の最高値を示す。

令和元年度環境放射線等測定結果（速報）

【空間放射線（線量率）】

【可搬型モニタリングポスト】

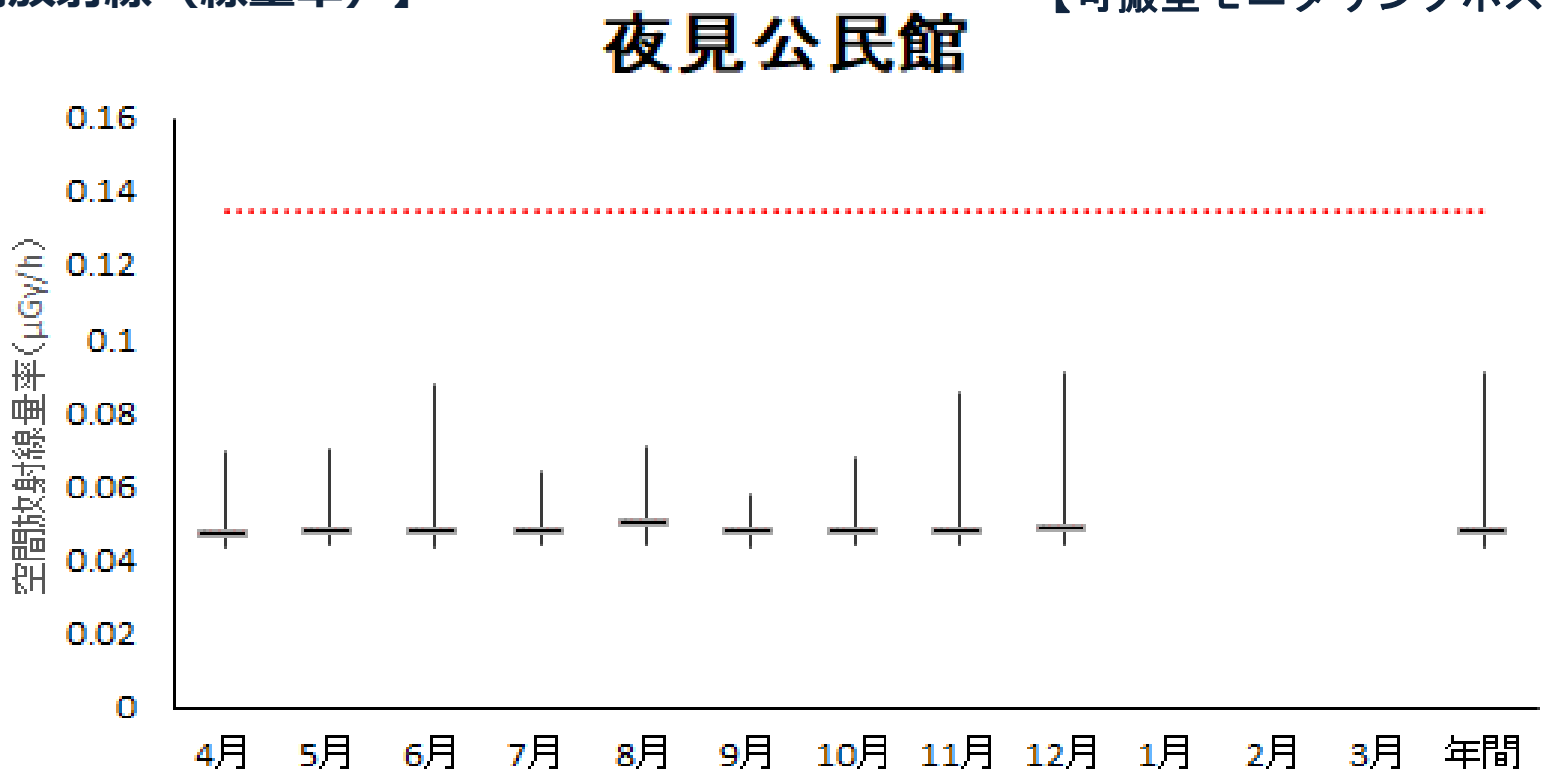


注：点線はH25～30年度の最高値を示す。

令和元年度環境放射線等測定結果（速報）

【空間放射線（線量率）】

【可搬型モニタリングポスト】

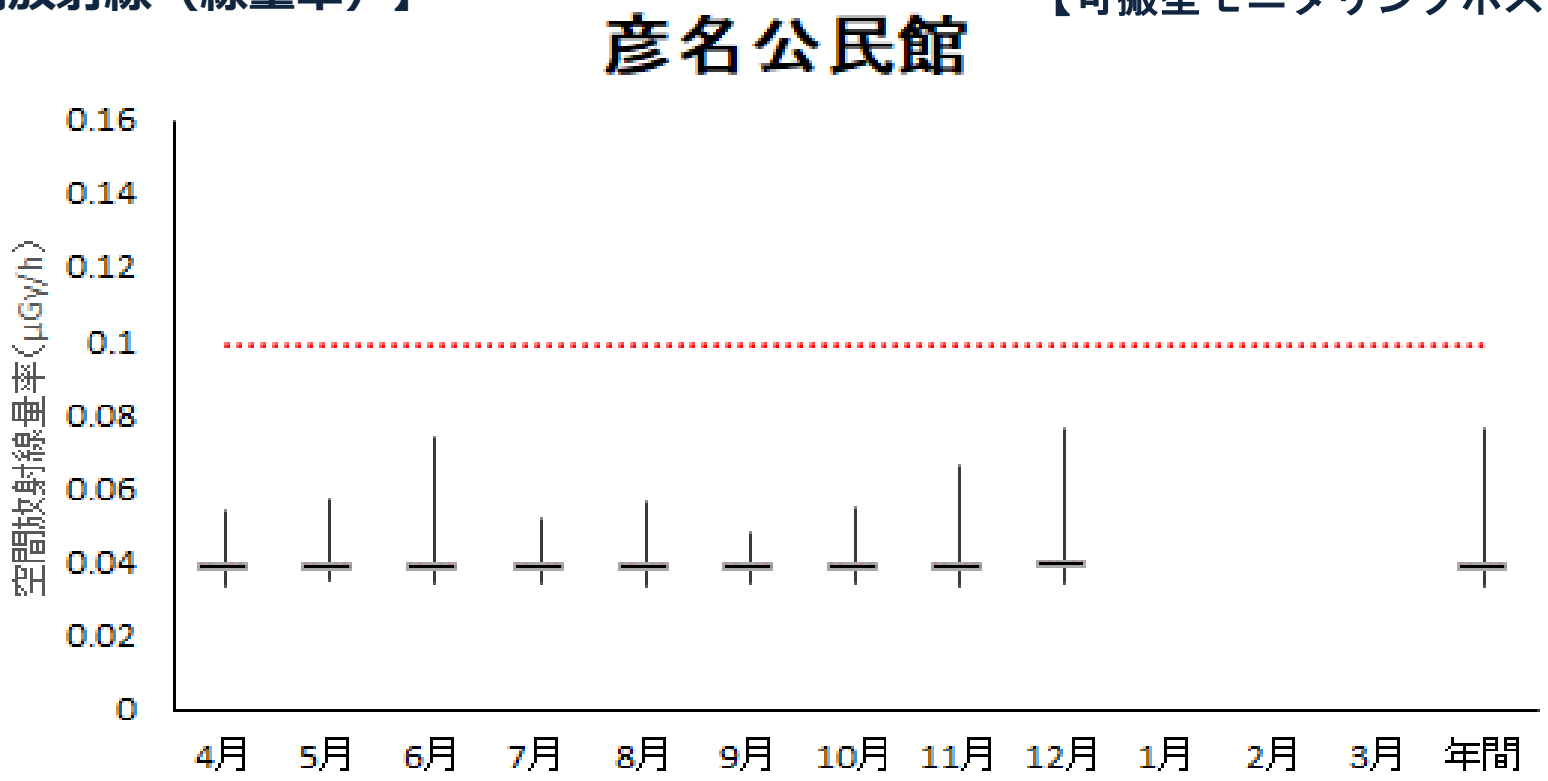


注：点線はH25～30年度の最高値を示す。

令和元年度環境放射線等測定結果（速報）

【空間放射線（線量率）】

【可搬型モニタリングポスト】



令和元年度の島根原子力発電所に係る平常時モニタリング結果については、12月までのところ、例年の測定結果と同レベルであった。